

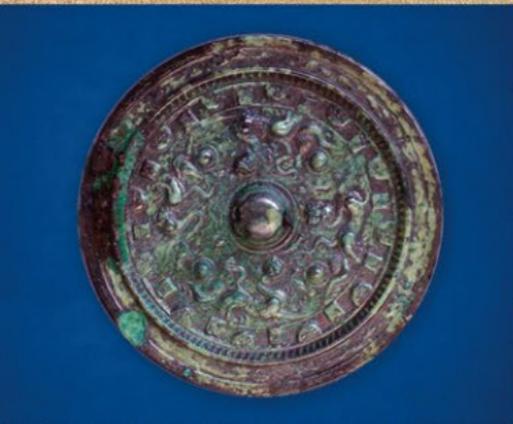


しもつけの夜明け

古代の首長たちが眠る古墳を巡る



とちぎ
いにしへの
回廊



歴史への
しぎない

ぷらり
散策

歴史への
しざない

しもつけの
夜明け



須恵器（塚山南古墳出土：宇都宮市教育委員会蔵）



銀装円頭大刀
（ぎんそうえんとうたち：別処山古墳石室内出土遺物：県指定：下野市教育委員会蔵）
現在、下野市立しもつけ風土記の丘資料館で観ることができる

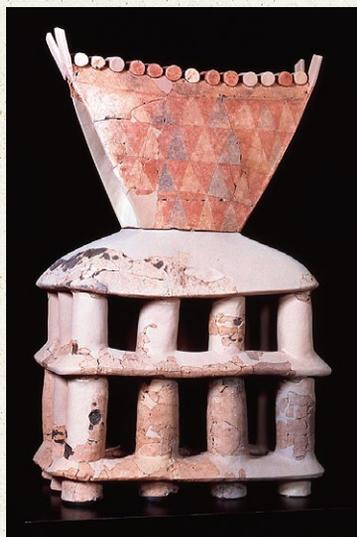
古墳は三世紀後半から七世紀にかけて、南東北から九州にかけての日本列島で造られ、全国に約一六万基以上あると言われています。『先代旧事本紀』によると、この頃の栃木県は「下毛野」と「那須」の二つの地域に分かれていたようです。そして、この二つの地域が七世紀後半に統合されて「下毛野国」と呼ばれるようになります。八世紀に入ると「下野国」と記されるようになりました。

ところで、古墳にはどのような人が埋葬されていたのでしょうか？古墳には誰もが埋葬されていた訳ではありません。大きな古墳を造るだけの労働力を集め、管理できる力をもった地域の首長もしくは有力な豪族たちの墓と考えられています。

古墳を一步一步踏みしめながらのぼると、古代の人びとの息づかいや声なき声が聞こえてきそうです。目の前にある古墳は、遙か悠久の彼方へと私たちの想像力をいざなってくれるでしょう。



下毛野（しもつけの）と那須



通輪「円柱の家」（富土山古墳出土／壬生町立歴史民俗資料館蔵）

思川・姿川・田川流域

駐車場 トイレ マップコート

国指定史跡

摩利支天塚古墳

ろ-5

下毛野国を見守る王者の墓

五世紀末から六世紀初め頃に造られた県内有数の大型前方後円墳。頂上には護身と蓄財などの神である摩利支天社が祀られている。

国指定史跡

琵琶塚古墳

は-5

県内最大級の規模を誇る前方後円墳

六世紀前半頃の築造。横から見ると、楽器の琵琶を思わせるところから名付けられたという。季節になると、周辺には菜の花やコスモスが咲きほころぶ。

小山市飯塚

摩利支天塚 琵琶塚古墳資料館

または琵琶塚古墳(東側)

摩利支天塚 琵琶塚古墳資料館

摩利支天塚 琵琶塚古墳資料館

または琵琶塚古墳(東側)

摩利支天塚 琵琶塚古墳資料館

または琵琶塚古墳(東側)

摩利支天塚 琵琶塚古墳資料館

または琵琶塚古墳(東側)

摩利支天塚 琵琶塚古墳資料館

または琵琶塚古墳(東側)

国指定史跡

壬生愛宕塚古墳・牛塚古墳・車塚古墳

は-5

黒川東岸に眠る

「壬生の古墳群」

壬生愛宕塚古墳(右)と牛塚古墳(左)は六世紀後半頃から七世紀初め頃にかけて造られた前方後円墳。車塚古墳(左)は七世紀前半頃に造られた円墳の中では全国最大級の規模をほこり、凝灰岩(ぎょうかいがん)を組み合わせた石室は見学可能。

壬生町壬生甲



国指定史跡

茶白山古墳

ろ-5

「はにしの里」のシンボル

六世紀後半頃に造られた前方後円墳。明治時代に発掘調査がされており、家形の埴輪などが出土している。高低差のある堤は庄巻。

壬生町羽生田

富士山古墳

ろ-5

国内屈指の巨大埴輪が出土

六世紀後半頃に造られた円墳。ここで出土した高さ百六十センチメートルを超える家形埴輪は、壬生町立歴史民俗資料館で観ることができ。

神徳大神宮/壬生町セツロ

国指定史跡

国分寺愛宕塚古墳

は-5

古代国分寺地域最後の前方後円墳

六世紀末から七世紀初め頃の築造。埋葬施設は愛宕神社社殿西側にあることが発掘調査でわかった。

下野市国分寺

下野市国分寺

吾妻古墳

は-5

県内最大規模を誇る覇者の墓

六世紀後半頃の築造。石室(せきしつ)は自然石の一枚石で造られ、金銅製の馬具や銀装の小刀など覇者に相応しい副葬品が出土している。

壬生町藤井・栃本市大光寺町

壬生町藤井・栃本市大光寺町

壬生町藤井・栃本市大光寺町

壬生町藤井・栃本市大光寺町

壬生町藤井・栃本市大光寺町

国指定史跡

笹塚古墳

は-5

王者の風格ただよう

前方後円墳

五世紀中頃に造られたと考えられ、県内最大級の規模を誇る。古墳の上には薬師堂が祀られ、近隣の人たちの崇敬(すうけい)を集めている。



宇都宮市東谷町

那珂川流域

国指定史跡

那須小川古墳群

に-3

古代那須地域を物語る前方後方墳群

三世紀後半から四世紀にかけて造られた関東地方で最も古い時期の古墳群。駒形大塚古墳(上)・那須八幡塚古墳(中)から中国鏡など貴重な副葬品が出土し、吉田温泉神社(よしだげんじんじや)古墳(下)には葬送に伴う施設があったことが確認された。

那珂川町小川・吉田

駒形大塚古墳のみ



国指定史跡

唐御所横穴

に-3

平将門一族の伝説が残る

古代の墓室

七世紀頃に造られたと考えられる。凝灰岩(ぎょうかいがん)の丘陵の南斜面に掘り込まれた精巧(せいこう)な横穴墓(よこあなほ)で、あたかも一戸の住宅を思わせる。



那珂川町和見

国指定史跡

侍塚古墳

に-3

黄門さまが調査を命じた前方後方墳

四世紀後半頃の築造と考えられる。上侍塚古墳(上)は、那珂川流域で最大級の規模を誇り、下侍塚古墳(下)は「日本で一番美しい古墳」と称されている。

大田原市

湯津上



県指定史跡

塚山古墳群

は-4

トンネルの上にある

古墳群

五世紀後半から六世紀初め頃に造られた古墳群。前方後円墳の塚山古墳(左)には、所有者の手によってドウタンツツジが植えられている。



宇都宮市西川田町

(県総合運動公園)

(県総合運動公園)

県指定史跡

長岡百穴古墳

は-4

五十二の穴がくりぬかれた横穴墓

七世紀に造られ、丘陵の岩肌を利用した横穴墓群。各横穴墓には、地元で弘法大師一夜の作と言伝えられてきた観音像が彫られている。

宇都宮市長岡町

市指定史跡

北山古墳群

は-4

丘陵から見守る古代の霊園

六世紀中頃から後半にかけて造られた古墳群。三つの前方後円墳からなり、自然の丘陵を巧みに利用して造られている。

宇都宮市瓦谷町(岩本町)

北山霊園

北山霊園



五行川流域

県指定史跡

亀の子塚古墳

は-4

首をのびした亀に見える墓

四世紀の築造と考えられる前方後方墳。古墳の上には行事神社が祀られ、秋の例大祭では子供相撲が奉納されている。

行事神社/芳賀町西高橋

町指定史跡

浅間山古墳

に-4

丘陵の入口で見守る前方後方墳

四世紀に造られたと考えられる。古墳の入口にある木製の鳥居をくぐり参道を上ると、浅間神社の小さな祠(ほこら)が祀られている。

芳賀町八ツ木



ぶらり 散策

季節ごとに
表情を変えながら
出迎えてくれる
足利市内の古墳たち

P 駐車場 H トイレ



P O (足利公園) H O (足利公園)

市指定
史跡 足利公園
足利市緑町1丁目

足利公園古墳

6世紀後半頃の築造。公園内にある9基のうち円墳の1・2号墳の発掘調査は、明治以降の科学的手法による古墳発掘の先駆けとなった。



P O (下野國一社八幡宮) H O (下野國一社八幡宮)

県指定
史跡 下野國一社八幡宮
足利市八幡町

八幡山古墳群

“憩いの森”と呼ばれる八幡山に、6世紀中頃からおよそ100年間に築造された円墳が70基以上あり、今なお壊されることなく残されている。



P O (織姫公園) H O (織姫公園)

市指定
史跡 織姫公園
足利市本城3丁目

機神山山頂古墳

6世紀後半頃に築造された前方後円墳。山頂から市内を眺めながら、古墳に眠る支配者が自らの領土を眺めた時の姿を想像してみたくなる。

栃木県内の出来事

(国内の主な出来事)

年代	
3世紀	地域的な文化圏の形成 ヤマト王権の成立。古墳が造られはじめる
4世紀	前方後円墳が造られる 駒形大塚古墳、吉田温泉神社古墳群、那須八幡塚古墳、侍塚古墳、亀の子塚古墳、浅間山古墳
5世紀	広域的な支配者が出現し、前方後円墳が造られる 笹塚古墳、塚山古墳群 摩利支天塚古墳、琵琶塚古墳
6世紀	百済から仏教が伝わる(538年、552年とも) 前方後円墳が数多く造られる 八幡山古墳群(～7世紀中頃)、北山古墳群 足利公園古墳、機神山山頂古墳、吾妻古墳、壬生愛宕塚古墳、茶白山古墳、富士山古墳 厩戸皇子(聖徳太子)が摂政となる(593年) 牛塚古墳 国分寺愛宕塚古墳 前方後円墳が造られなくなり、円墳や方墳が多く造られる
7世紀	車塚古墳、長岡百穴古墳、唐御所横穴 大化の改新(乙巳の変:いっしのへん)がはじまる(645年) 那須国が下毛野国に編入され「那須評(郡)」となる
8世紀	国名が「下毛野国」から「下野国」になる

栃木県埋蔵文化財センター

【所在】下野市紫474
 【問】0285-44-8441【開】9時半～16時半(入館は16時まで)【休】土、祝休日、年末年始、年度末、年度始めの定める日(日曜日と祝休日)が重なる場合は開館、翌日休館【料金】無料【駐車場】あり



下野市立しもつけ風土記の丘資料館

【所在】下野市国分寺993
 【問】0285-44-5049【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)第3火曜日、祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始、【料金】無料【駐車場】あり



小山市立博物館

【所在】小山市乙女1-31-7
 【問】0285-45-5331【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)第4金曜日、年末年始(12月28日～1月4日)特別整理期間(年1回、10日以内)【料金】無料(企画展開催時は有料)【駐車場】あり



壬生町立歴史民俗資料館

【所在】壬生町本丸1-8-33
 【問】0282-82-8544【開】9時～17時(ただし、火曜は13時～。入館は16時半まで)【休】月、火曜午前、祝休日(企画展開催時のみ開館)年末年始【料金】無料(企画展開催時は有料、中学生以下は無料)【駐車場】あり(壬生町城址公園)



うつのみや遺跡の広場 [国指定史跡 根古谷台遺跡]

【所在】宇都宮市上欠町151-1
 【問】028-659-0193【開】(4～10月)9時～17時(入園は16時半まで)(11～3月)9時～16時半(入園は16時まで)【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開園)年末年始【料金】無料【駐車場】あり

那珂川町なす風土記の丘資料館
大田原市なす風土記の丘湯津上資料館

【所在(那珂川町)】那珂川町小川3789
 【問】0287-96-3366
 【所在(大田原市)】大田原市湯津上192
 【問】0287-98-3322【開】9時半～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日の場合は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日あり【料金】一般100円(80円)学生50円(40円)※()は20名以上の団体料金【駐車場】あり



湯津神村車塚御修理 武茂
 郷むもこの名主大金重
 貞おおがねしげさだ が記し
 た発掘に関する文書(個人蔵)



2つの日本初と古墳発掘

～侍塚古墳と足利公園古墳～

栃木県内には、日本の考古学史を語る上で重要な古墳が2つあります。侍塚古墳と足利公園古墳です。侍塚古墳は元禄5(1692)年、水戸藩主徳川光圀が命じて、日本初の考古学的な発掘調査が行われました。光圀は発掘調査後、出土品を松の箱に入れて埋め戻し、古墳の景観保護のため松を植えました。一方、足利公園古墳は明治19(1886)年、

当時東京帝国大学大学院で人類学を学んでいた坪井正五郎によって、日本人初の科学的な学術調査による古墳発掘が行われました。この発掘は、坪井による発掘調査の学術的意義を理解した足利の有志たちの協力なくしては成功しませんでした。いずれも、文化財として後世に伝えることに力を注いだ先駆的な発掘調査として記憶されています。



あしかがふるつかしらへがき
 (東京大学大学院情報学環蔵)



【表紙写真：左上から】足利公園古墳／大刀柄頭（別処山古墳出土）
／下侍塚古墳／画文帯四獣鏡（駒形大塚古墳出土）／車塚古墳／馬
形埴輪（写真右最下部：甲塚古墳出土）

「とちぎいにしえの回廊」とは

古くから自然と人間とのかかわりを通じて、人びとの生活の中から生まれ、大切に守られてきた文化財。このプロジェクトは、栃木県内に残る貴重な文化財を7つのテーマ（川と古墳、東山道、中世武士団、日光への道、近代化遺産、おくのほそ道、くらしと水）から紹介することで、文化財という「宝」を知ってもらい、また新たな魅力を発見してもらおうプロジェクトです。

また、専用WEBサイトを開設しました。こちらでは、特集ページのほか、県内の文化財やお祭り・伝統行事の開催情報の提供など、本パンフレットに掲載されていない情報が掲載されています。ぜひチェックしてみてください。



<https://www.inishie.tochigi.jp>

関係連絡先一覧

栃木県教育委員会事務局文化財課

☎028-623-3424

小山市教育委員会事務局文化振興課

☎0285-22-9826

下野市教育委員会事務局文化財課

☎0285-32-6105

大田原市教育委員会事務局文化振興課

☎0287-98-3768

芳賀町教育委員会事務局生涯学習課

☎028-677-0009

足利市教育委員会事務局文化財課

☎0284-20-2230

栃木市教育委員会事務局文化課

☎0282-21-2497

宇都宮市教育委員会事務局文化課

☎028-632-2768

壬生町教育委員会事務局生涯学習課

（壬生町立歴史民俗資料館）

☎0282-82-8544

那珂川町教育委員会事務局生涯学習課

（那珂川町なす風土記の丘資料館）

☎0287-96-3366

写真提供・協力者（敬称略）

宇都宮市教育委員会／大田原市教育委員会

／小山市立博物館／下野市教育委員会

／東京大学大学院情報学環図書室／那珂川

町教育委員会／壬生町立歴史民俗資料館

マップコードとは？



発行 栃木県教育委員会事務局文化財課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20

2014（平成26）年3月 第1刷発行
2015（平成27）年7月 第2刷発行
2018（平成30）年3月 第3刷発行
2021（令和3）年3月 第4刷発行

※「マップコード」および「MAPCODE」は（株）デンソーの登録商標です。「マップコード」の使い方については、開発元の（株）デンソーのホームページをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/whats.html>